



## 現場の声から始まった物流改革 — 長岡モータープールを核とした次世代新車輸送モデル —

### ■ 概要

豪雪地域における輸送課題と物流業界の労働環境の変化を背景に、当社では、群馬県太田市を拠点とする新潟県向けの新車輸送事業において、新潟県長岡市に新設した「長岡モータープール」を核とした新たな輸送体制を構築しました。

本取り組みは、現場から上がった声を起点として生まれた物流改革です。

### ■ 背景

約10年前、冬季の輸送を担当する乗務員から、「このやり方を、この先も続けるのは正直厳しい。」という率直な声が上がりました。

それは単なる不満ではなく、日々、安全と品質を守り続けてきた当事者だからこそ、責任ある問題提起でした。

冬季の新潟県内輸送では、

- ✓ 降雪による交通規制・通行止め
- ✓ 長距離運行による長時間拘束
- ✓ 夜間納品
- ✓ 納車先での除雪作業

といった負担が常態化していました。

さらに物流業界では労働時間規制が強化され、従来型の長距離・夜間中心オペレーションでは持続可能性の確保が困難な状況となっています。

当社はこの声を一過性の意見として扱うのではなく、経営課題として真正面から受け止めました。

輸送品質を支えているのは設備でも車両でもなく、「人」です。

だからこそ、現場の声に耳を傾けることを起点に、輸送体制そのものを見直すプロジェクトが始まりました。

#### 【課題】 豪雪地帯が抱える「物流の停滞」と安全リスク

「2024年問題」への対応限界



冬季の交通規制による長時間拘束と遅延



納車先での除雪作業による身体的負担





## ■ 取り組み内容

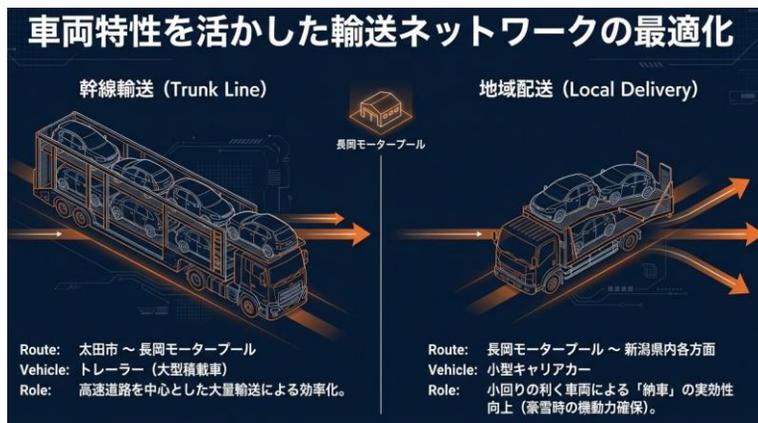
### 1. 長岡モータープール新設（輸送体制の再設計）

新潟県長岡市にモータープールを新設し、輸送を以下のように分離しました。

✓ 太田市 ～ 長岡MP：トレーラーによる幹線輸送

✓ 長岡MP ～ 新潟県内各方面：小型車による地域配送

これにより、豪雪エリアでの長距離運行回避、冬季拘束時間の大幅削減と安全性向上を実現しました。



### 2. 納車時間の構造改革（夜間→日中）

販売店様のご理解とご協力のもと、従来の夜間納車から日中納車へ転換。

これにより、

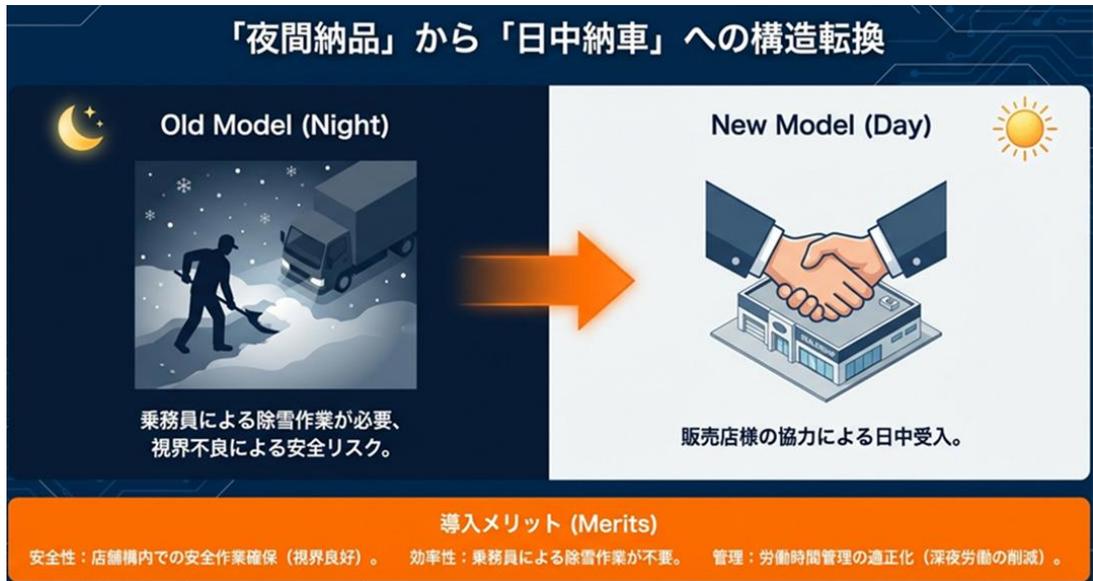
✓ 除雪作業の解消

✓ 店舗構内の安全確保

✓ 労働時間管理の適正化

が実現しました。

本改革は、当社単独ではなく、販売店様・パートナー企業様との協働による物流改革です。

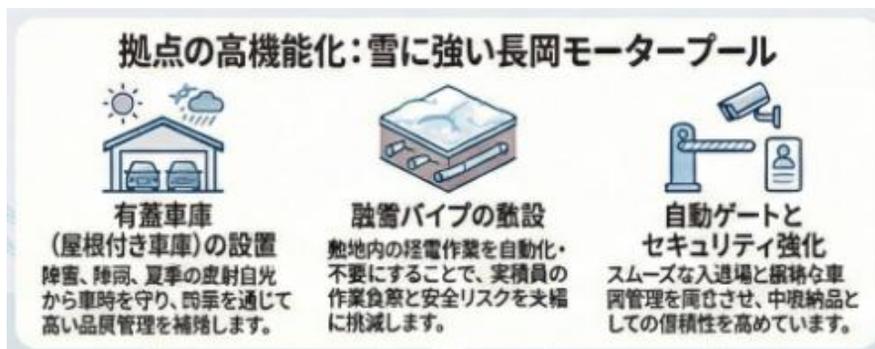


### 3. 高機能モータープール整備

長岡モータープールは単なる中継地点ではありません。

- ✓ 有蓋車庫設置（降雪・直射日光対策）
- ✓ 融雪パイプ敷設（敷地内除雪不要）
- ✓ 自動ゲート導入（セキュリティ強化）

四季を通じた品質安定と車両保全レベル向上を実現しています。



※有蓋車庫

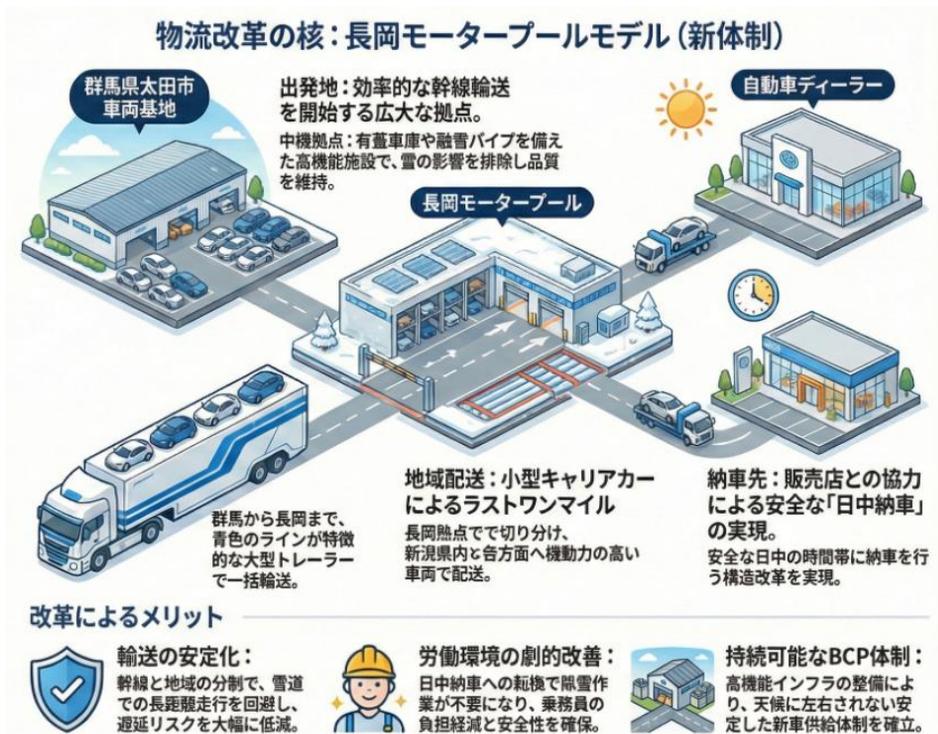


※自動ゲート



## ■ 成果

- ✓ 冬季長時間拘束リスクの大幅低減（約17%低減）
- ✓ 乗務員の安全性向上
- ✓ 天候に左右されない安定輸送体制確立
- ✓ 労働時間規制への実効対応
- ✓ BCP強化
- ✓ 車両品質維持水準向上



## ■ 第三者評価

本取り組みは自社評価に留まらず、物流専門コンサルティング会社である株式会社船井総研サプライチェーンコンサルティングによる外部評価を実施。成果の定量分析、モデル化可能性の検証、次なる展開戦略の整理を行い、本モデルの再現性と拡張性を確認しました。

### 長岡MP設置によるメリット

■ 定性・定量分析、ヒアリングをふまえ、長岡MP設置によるメリットを整理した

#### 3. 長岡MPにおいて

項目	内容
作業効率	商品車の雪卸し作業を <b>屋根下で行える運用</b> となった
	融雪設備により、除雪作業（付帯作業）にかかる <b>時間が短縮</b> した
作業安全性	有蓋車庫の設置により、雪・雨・日差しを避けられ、 <b>ドライバーの労働環境が改善</b> した
	夜間の照明設備により、昼夜を問わず作業時の安全を確保する
施設・設備	支柱のない有蓋車庫の設計により、駐車時や商品車積み卸しの事故を防止する
	有蓋車庫の設置により、積み卸し中の鳥ファン被害が軽減された ※倉庫内に鳥よけネット設置
作業安全性	融雪パイプ、ルーフヒーター、融雪ホース等の融雪設備が備わり、降雪時における <b>ドライバーの負担が軽減</b> した
	遠隔で操作可能な防犯カメラ、自動開閉門が導入され、 <b>2拠点管理体制</b> (長岡MPと太田営業所)を実現した
周辺環境	洗車場、自家スタッドEV充電器、ドライバー控室、男女別のトイレ等、ドライバー向けの付帯設備が整備され、利便性が向上した
	各販売店への納品 販売店における夜間作業がなくなり、近隣住民への <b>騒音問題が解消</b> された



## ■ 今後の展望

今回構築した中継拠点を活用した輸送体制は、長岡モータープールをモデルケースとして実現したものです。

本取り組みは豪雪地域における輸送課題への対応から検討が始まりましたが、その本質は特定地域の課題解決にとどまるものではありません。物流業界が直面する労働環境の変化、輸送の安定性確保、そして持続可能な輸送体制の構築といった、より広い視点での課題解決を目的としています。

幹線輸送と地域配送を分離する中継拠点型の輸送モデルは、輸送効率の向上だけでなく、運行の安定化、労働時間管理の適正化、さらには天候や地域特性に左右されにくい物流ネットワークの構築につながる可能性を持っています。

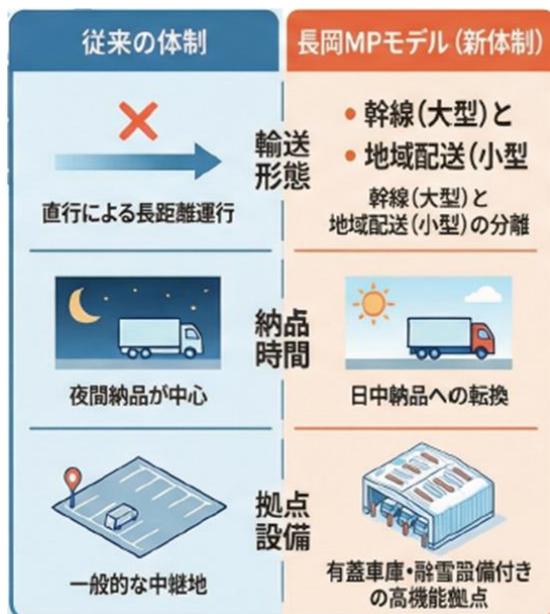
本取り組みの評価については、物流コンサルティング会社である株式会社船井総研サプライチェーンコンサルティングの協力のもと成果検証を実施し、持続可能な輸送体制構築のモデルとして発展性があるとの評価をいただいています。

当社では今回の長岡モータープールで得られた知見を整理し、地域ごとの輸送条件や物流特性を踏まえながら、他エリアにおける中継拠点型輸送モデルの可能性についても検討を進めていきます。

輸送環境が大きく変化する時代においても、安全・品質・安定供給を維持し続けるためには、従来の輸送体制にとらわれない柔軟な発想と、持続可能な物流ネットワークの構築が不可欠です。

当社はこれからも輸送の高度化とネットワーク最適化を進めながら、新しい物流のあり方を模索してまいります。

なお、本取り組みに続く新たなプロジェクトについても現在準備を進めており、詳細については今後あらためてご紹介する予定です。





## ■ 代表コメント

「当社では、日頃から現場より多くの改善提案や意見が寄せられています。立場や経験年数に関わらず、率直に意見を発信できる風土、それこそが、当社の強みだと考えています。

10年前、冬季輸送を担当する乗務員から「このやり方を、この先も続けるのは正直厳しい」という声が上がりました。

それは特別な出来事ではなく、日常の改善提案の延長線上にあった一つの声です。

しかし私たちは、その声を見過ごしませんでした。

現場の違和感には、必ず意味があると考えているからです。

当社の改革は、いつも現場から始まります。

長岡モータープールを核とした今回の取り組みも、そうした積み重ねの中から生まれました。

現場で働く仲間が、安全に、誇りを持って仕事ができる環境を整えること。

それが結果として、お客様への安定供給と信頼につながると私は信じています。

現在、次なる物流改革プロジェクトも進行しています。

それは単なる効率化ではなく、人・安全・品質をさらに高い次元で両立させる新しい輸送のかたちです。

物流を取り巻く環境が大きく変化する今、私たちはこれからも現場とともに考え、進化を続けてまいります。

その新たな取り組みについても、近く皆様にご報告できる予定です。

どうぞ、今後の展開にもご期待ください。」

## ■ 長岡モータープール概要

所在地 : 〒940-2023

[新潟県長岡市蓮潟町五郎作428-18](#)

敷地面積 : 21,596.45㎡ (6,544.38坪)

保管台数 : 213台 (第一期工事分)

主要設備 : 有蓋車庫・融雪設備・自動ゲート・給油所・洗車場

運用開始 : 2024年10月



## 【お問合せ先】

日本陸送株式会社 総務部 電話番号 : 0276-37-8111